

表2 識別指数(対臨床実習評価)順にみた模擬臨床実地問題の概要

領域	通し番号	カテゴリー	解答形式	国試年度	正答率	識別指数 (対模擬問 題正答率)	識別指数 (対臨床実 習評価)
補綴系	23	①	A	第105回	66.9%	0.42	0.26
保存系	8	③	A	第105回	75.2%	0.25	0.25
補綴系	30	④	XX	第104回	79.3%	0.38	0.24
保存系	12	④	X2	第103回	89.0%	0.08	0.23
補綴系	25	②	X2	第101回	84.1%	0.27	0.22
口外系	43	②	A	第102回	81.4%	0.14	0.21
補綴系	31	④	A	第105回	95.2%	0.00	0.21
保存系	20	⑤	A	新作	65.5%	0.35	0.20
補綴系	37	③	XX	新作	60.7%	0.17	0.20
保存系	1	①	X2	第101回	65.5%	0.35	0.20
補綴系	34	⑤	A	第104回	74.5%	0.16	0.19
保存系	18	⑤	A	新作	62.8%	0.33	0.17
保存系	13	⑤	X2	第103回	41.4%	0.33	0.17
口外系	40	①	A	第103回	88.3%	0.40	0.15
保存系	4	②	A	第101回	62.8%	0.32	0.15
保存系	7	③	X2	第102回	60.7%	0.40	0.14
口外系	51	⑤	A	第102回	83.4%	0.21	0.14
保存系	2	①	X2	第105回	54.5%	0.50	0.14
保存系	9	③	X2	第103回	77.9%	0.29	0.13
保存系	5	②	A	第103回	89.7%	0.29	0.13
口外系	44	③	A	第103回	69.0%	0.43	0.12
口外系	39	①	A	第104回	66.2%	0.20	0.11
補綴系	28	③	A	第103回	86.9%	0.45	0.11
補綴系	29	③	A	第104回	84.1%	0.24	0.11
口外系	42	②	A	第104回	77.9%	0.54	0.10
補綴系	22	①	X2	第104回	82.8%	0.30	0.10
補綴系	35	⑤	X2	第104回	78.6%	0.51	0.10
補綴系	33	⑤	A	第104回	90.3%	-0.09	0.09
補綴系	21	①	X2	第101回	44.8%	0.61	0.08
補綴系	26	②	X2	第103回	82.1%	0.44	0.07
口外系	54	⑤	XX	新作	22.8%	0.35	0.07
保存系	3	①	X2	第102回	73.8%	0.26	0.06
口外系	41	②	X2	第101回	11.7%	0.30	0.05
補綴系	32	④	X2	第102回	84.1%	0.08	0.04
保存系	15	⑤	A	第105回	83.4%	-0.21	0.04
補綴系	24	②	A	第104回	86.2%	0.07	0.03
保存系	19	④	X2	新作	73.8%	0.52	0.03
口外系	46	④	A	第104回	75.2%	0.37	0.03
口外系	50	⑤	A	第103回	71.7%	0.00	0.03
口外系	49	⑤	A	第105回	69.7%	0.65	0.03
口外系	45	③	X2	第102回	73.1%	0.51	0.03
保存系	14	⑤	X2	第104回	70.3%	-0.15	0.03
補綴系	36	③	XX	新作	31.7%	0.42	0.00
口外系	53	①	XX	新作	42.8%	0.42	0.00
口外系	47	④	A	第105回	89.0%	0.32	0.00
保存系	6	②	X2	第104回	52.4%	0.42	-0.03
保存系	10	④	X2	第104回	66.2%	0.41	-0.03
保存系	11	④	A	第105回	72.4%	0.19	-0.06
口外系	48	④	A	第104回	84.1%	0.32	-0.07
口外系	38	①	A	第103回	93.1%	0.12	-0.10
口外系	52	④	A	新作	58.6%	-0.03	-0.11
保存系	17	④	A	新作	96.6%	-0.17	-0.17
補綴系	27	③	A	第103回	70.3%	0.27	-0.19
保存系	16	④	A	新作	57.2%	0.20	-0.20

表3 相関分析(pearson)の有意確率準にみた模擬臨床実地問題の概要

領域	通し番号	カテゴリー	解答形式	国試年度	正答率	Pearson 相関係数	有意確率
補綴系	23	①	A	第105回	66.9%	0.21	0.01
保存系	8	③	A	第105回	75.2%	0.20	0.02
保存系	12	④	X2	第103回	89.0%	0.20	0.02
補綴系	25	②	X2	第101回	84.1%	0.16	0.06
口外系	39	①	A	第104回	66.2%	0.14	0.10
口外系	51	⑤	A	第102回	83.4%	0.13	0.11
保存系	5	②	A	第103回	89.7%	0.13	0.12
保存系	2	①	X2	第105回	54.5%	0.13	0.12
補綴系	34	⑤	A	第104回	74.5%	0.13	0.12
補綴系	30	④	XX	第104回	79.3%	0.13	0.13
保存系	9	③	X2	第103回	77.9%	0.12	0.14
口外系	43	②	A	第102回	81.4%	0.12	0.14
補綴系	37	③	XX	新作	60.7%	0.12	0.16
保存系	20	⑤	A	新作	65.5%	0.12	0.16
保存系	16	④	A	新作	57.2%	-0.11	0.17
保存系	13	⑤	X2	第103回	41.4%	0.11	0.18
補綴系	31	④	A	第105回	95.2%	0.11	0.19
口外系	42	②	A	第104回	77.9%	0.11	0.19
補綴系	29	③	A	第104回	84.1%	0.11	0.20
保存系	18	⑤	A	新作	62.8%	0.10	0.21
保存系	7	③	X2	第102回	60.7%	0.10	0.23
口外系	48	④	A	第104回	84.1%	-0.09	0.27
補綴系	22	①	X2	第104回	82.8%	0.09	0.29
補綴系	27	③	A	第103回	70.3%	-0.08	0.33
口外系	40	①	A	第103回	88.3%	0.08	0.34
口外系	44	③	A	第103回	69.0%	0.08	0.36
保存系	17	④	A	新作	96.6%	-0.08	0.37
保存系	1	①	X2	第101回	65.5%	0.07	0.39
補綴系	28	③	A	第103回	86.9%	0.07	0.41
保存系	15	⑤	A	第105回	83.4%	0.07	0.42
口外系	50	⑤	A	第103回	71.7%	0.06	0.44
口外系	52	④	A	新作	58.6%	-0.06	0.46
保存系	11	④	A	第105回	72.4%	0.06	0.51
補綴系	24	②	A	第104回	86.2%	0.05	0.51
補綴系	35	⑤	X2	第104回	78.6%	0.05	0.55
保存系	3	①	X2	第102回	73.8%	0.05	0.55
補綴系	26	②	X2	第103回	82.1%	0.04	0.59
口外系	49	⑤	A	第105回	69.7%	0.04	0.62
口外系	47	④	A	第105回	89.0%	0.04	0.63
保存系	14	⑤	X2	第104回	70.3%	0.04	0.63
補綴系	32	④	X2	第102回	84.1%	0.04	0.66
補綴系	33	⑤	A	第104回	90.3%	0.03	0.68
補綴系	36	③	XX	新作	31.7%	-0.03	0.71
保存系	4	②	A	第101回	62.8%	0.03	0.72
口外系	45	③	X2	第102回	73.1%	0.03	0.73
補綴系	21	①	X2	第101回	44.8%	-0.02	0.82
口外系	38	①	A	第103回	93.1%	-0.02	0.83
保存系	19	④	X2	新作	73.8%	0.01	0.87
口外系	41	②	X2	第101回	11.7%	0.01	0.91
保存系	6	②	X2	第104回	52.4%	-0.01	0.93
口外系	53	①	XX	新作	42.8%	0.01	0.94
口外系	54	⑤	XX	新作	22.8%	0.00	0.96
保存系	10	④	X2	第104回	66.2%	0.00	0.98
口外系	46	④	A	第104回	75.2%	0.00	0.99

添付資料

模擬試験問題

保存系 問 1～20

補綴系 問21～37

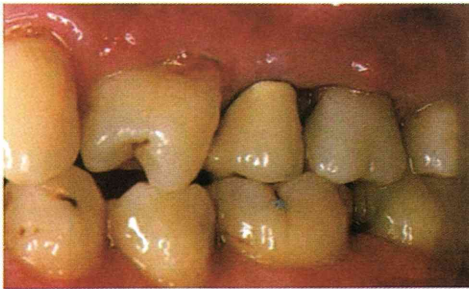
口腔外科系 問38～54

保存系一問1、4

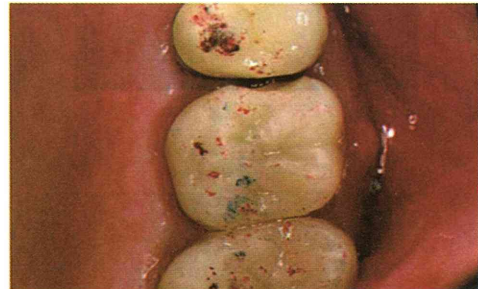
次の文により1、4の問いに答えよ。

52歳の男性。上顎左側第一大臼歯の咬合痛を主訴として来院した。同部の歯冠補綴装置は10年前に装着し、良好に経過していたが、半年前から時々痛みがあるという。初診時の口腔内写真(A)、咬合接触状態(B)及び瘻孔にガッタパーチャポイントを挿入して撮影したエックス線写真(C)を別に示す。

保存系一問1、4



写真A



写真B



写真C

保存系一問1、4

問1 咬合痛の原因として考えられるにはどれか。2つ選べ。

- a 根尖性歯周炎
- b 髄床底の穿孔
- c 歯根破折
- d 歯冠補綴装置の過高
- e 歯冠補綴装置の破損

問4 |6| に行う適切な処置はどれか。

- a 咬合調整
- b 再根管治療後、再歯冠補綴
- c トライセクション後、再歯冠補綴
- d トンネリング後、再歯冠補綴
- e 抜歯後、|⑤6⑦|ブリッジ装着

保存系一問2

問2 29歳の男性。下顎右側大白歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。数年前から食片圧入があるという。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬側※	3	2	4	3	2	2
歯種	7			6		
口蓋側※	3	2	5	3	2	2
動揺度※※	0			0		

※:歯周ポケットの深さ(mm)

※※:Millerの判定基準

次に行うのはどれか。2つ選べ。

- a 口臭の検査
- b 歯周離開度検査
- c 付着歯肉幅の検査
- d 歯周ポケット内の細菌検査
- e 研究用模型による咬合診査

保存系一問2



写真A



写真B

保存系一問3

問3 61歳の男性。上顎前歯の動揺と正中離開の増大とを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬側※	2	2	6	3	2	2
歯種	1			1		
口蓋側※	2	5	8	3	2	2
動揺度	1			1		

※: 歯周ポケットの深さ(mm)

病態の増悪因子はどれか。2つ選べ。

- a 口呼吸
- b 食片圧入
- c 外傷性咬合
- d 根尖性歯周炎
- e 上唇小帯の高位附着

保存系一問3



写真A



写真B

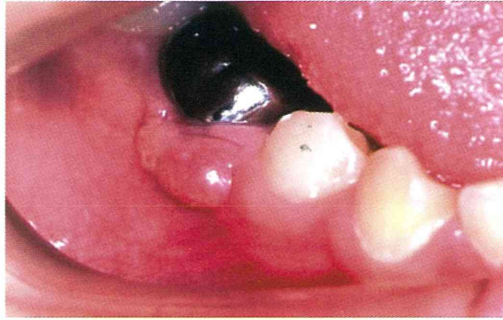
保存系一問5

問5 9歳の男児。下顎右側第二乳臼歯歯肉の腫脹を主訴として来院した。自発痛はなく、繰り返し膿瘍を形成するという。右下Eの動揺は2度で打診痛を認める。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。

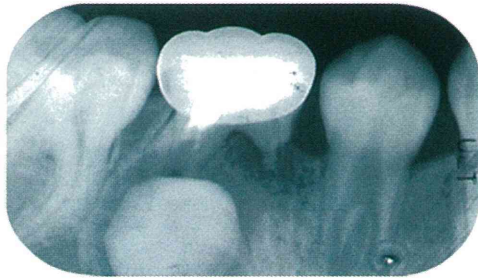
適切な対応はどれか。1つ選べ。

- a 乳歯冠の除去
- b 歯肉腫脹部の切除
- c 右下Eの除去
- d 右下Eの根尖切除
- e 右下Eの根管開放

保存系一問5



写真A



写真B

保存系一問6

問6 55歳の女性。歯周病の治療を希望して来院した。歯周基本治療後に歯周ポケットはすべて3mm以下となったが、下顎右側小白歯部のブラッシング時の疼痛や違和感が認められたため、歯周外科手術を行った。歯周基本治療後の暫間被覆冠を除去した時の口腔内写真(A)と術直後の口腔内写真(B)とを別に示す。

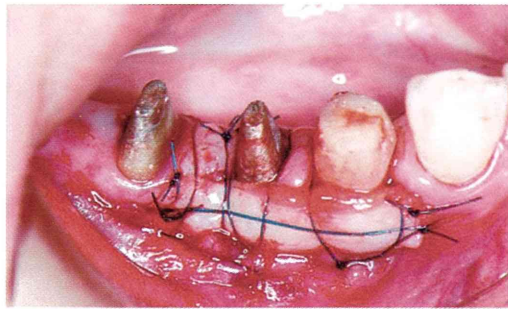
手術の目的はどれか。2つ選べ。

- a 審美性の回復
- b 口腔前庭の拡張
- c 角化歯肉幅の増大
- d 可動性粘膜の増大
- e アタッチメントの獲得

保存系一問6



写真A



写真B

保存系一問7

問7 31歳の男性。下顎左側第一大臼歯の拍動性の自発痛を主訴として来院した。数年前から疲労時に痛みと頬側歯肉部の腫脹とが度々起こるといふ。初診時の写真 (A)、エックス線写真(B)及び髓室開拓後の写真(C)を別に示す。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 3根管である。
- b 近心側の髓室壁が過剰に削除されている。
- c 根管口をラウンドバーで拡大する。
- d 根管長測定時には偏心投影で撮影する。
- e Kファイルで根管を穿通し排膿を試みる。

保存系一問7



写真A



写真B



写真C

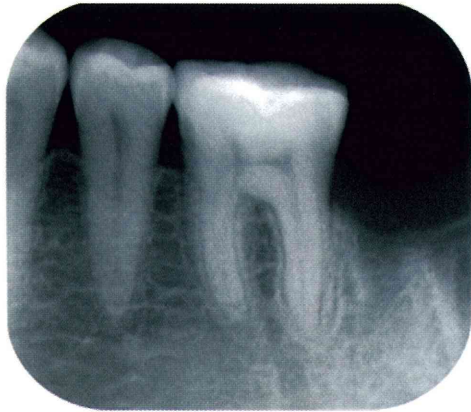
保存系一問8

問8 55歳の男性。下顎左側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。不可逆性の歯髄炎と診断し、抜髄を行うこととした。初診時のエックス線写真(A)と処置中の口腔内写真(B)とを別に示す。

次に行うのはどれか。1つ選べ。

- a 天蓋の除去
- b 作業長の測定
- c 根部歯髄の除去
- d 根管消毒剤の貼薬
- e 根管口のロート状拡大

保存系一問8



写真A



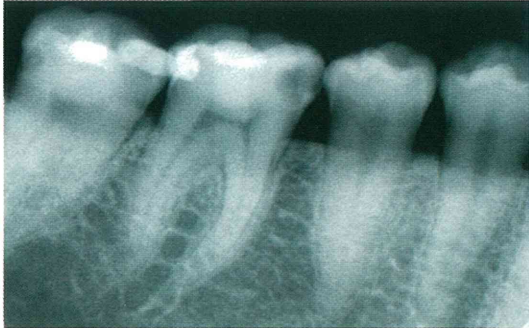
写真B

保存系一問9、12

次の文により9、12の問いに答えよ。

34歳の女性。下顎右側第一大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。2週間前から一過性の冷水痛を自覚するようになったという。電気診に正常に反応する。コンポジットレジンで修復することとした。初診時のエックス線写真(A)と感染象牙質除去後の口腔内写真(B)とを別に示す。

保存系一問9、12



写真A



写真B

保存系一問9、12

問9 窩洞形成で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 頬側への開放
- b 舌側への開放
- c 小窩裂溝部への拡大
- d 咬合面窩洞辺縁のベベル形成
- e 歯肉側壁エナメル質の白濁部除去

問12 修復に必要なのはどれか。2つ選べ。

- a ウェッジ
- b 圧排用綿糸
- c セメント裏層器
- d マトリックスバンド
- e サービカルマトリックス

保存系一問10

問10 24歳の男性。上顎右側第二小臼歯の違和感を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(A)、エックス線写真(B)を下に、器具の写真(C)を別に示す。

検査に使用するのはいずれか。2つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

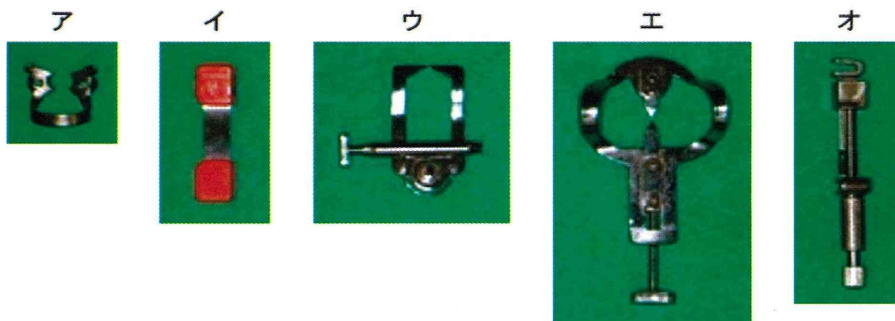


写真A



写真B

保存系一問10



写真C

保存系一問11

問11 35歳の女性。上顎右側側切歯の審美障害を主訴として来院した。コンポジットレジンを用いた直接ベニア修復を行うこととした。初診時と修復後の口腔内写真(A、B)を別に示す。

歯面処理剤として用いたのはどれか。1つ選べ。

- a リン酸
- b フッ化水素酸
- c ポリアクリル酸
- d デンティンプライマー
- e シランカップリング剤

保存系一問11



写真A(初診時)



写真B(修復後)

保存系-問13

問13 6歳の男児。下顎前歯の形態異常を主訴として来院した。経過観察を行っている。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。

定期健診時に留意すべきなのはどれか。2つ選べ。

- a 齲 蝕
- b 咬 耗
- c 歯冠破折
- d 歯髄感染
- e 生理的歯根吸収

保存系-問13



写真A



写真B

保存系－問14

問14 41歳の女性。下顎前歯の歯肉の腫れを主訴として来院した。ブラッシング指導に続いて歯肉縁上歯石除去を行うこととした。初診時の口腔内写真(A)とエックス線写真(B)とを別に示す。

歯石除去後に発現しやすいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の動揺
- b 歯肉の発赤
- c 歯肉の増殖
- d 歯の舌側傾斜
- e 象牙質知覚過敏症

保存系－問14



写真A



写真B

保存系一問15

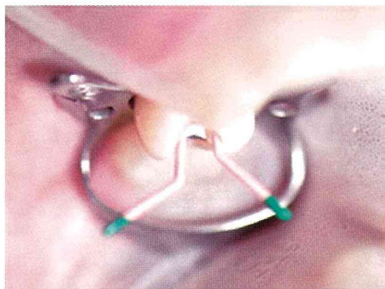
問15 58歳の男性。上顎右側第一小白歯の痛みを主訴として来院した。根管充填前にマスターポイント試適を行うこととし、ポイントを作業長に合わせ折り曲げた。初診時のエックス線写真(A)、ポイントを先に口蓋根管に挿入したときの口腔内写真(B)及びポイントを先に頬側根管に挿入したときの口腔内写真(C)を別に示す。試適時の所見から考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 穿孔
- b 根管の癒合
- c イスマスの存在
- d 作業長設定の誤り
- e 根尖部の拡大不足

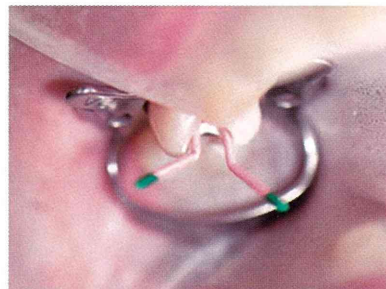
保存系一問15



写真A



写真B



写真C

保存系－問16

問16 WHOプローブを用いた検査時の写真を下に示す。

CPIコードはどれか。

- a 0
- b 1
- c 2
- d 3
- e 4



保存系－問17

問17 25歳の男性。下顎左側第1大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。同部の精査のために口内法エックス線検査を行うこととした。検査時の写真を別に示す。

フィルム の位置づけで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ア
- b イ
- c ウ
- d エ
- e オ

保存系一問17

ア



イ



ウ



エ



オ

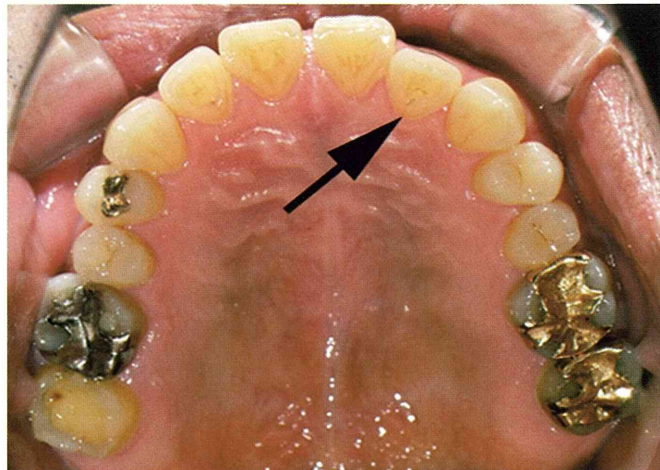


保存系一問18

問18 上顎の口腔内写真(ミラー像)を下に示す。

矢印で示す歯に特徴的な齲蝕好発部位はどれか。1つ選べ。

- a 歯帯
- b 盲孔
- c 棘突起
- d 斜切痕
- e 中心結節



保存系一問19

問19 32歳の男性。上顎前歯部の審美障害を主訴として来院した。口腔内写真を下に示す。5年前に抜髄処置を受けたという。漂白処置をすることになった。

用いるのはどれか。2つ選べ。

- a 過塩素酸
- b 過酸化尿素
- c 過酸化水素水
- d 過酸化ナトリウム
- e 過ホウ酸ナトリウム



保存系一問20

問20 下顎前歯部の口腔内写真を下に示す。

●印で示す部分に針を刺入して浸潤麻酔を行ったところ、刺入点から薬液が口腔内に漏れたという。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 粘膜筋板の欠如
- b 粘膜上皮の角化
- c 粘膜下組織の欠如
- d ステッピングの存在
- e 粘膜固有層の膠原線維の配列状態

